

2016年9月28日

東海大学ヨーロッパ学術センター
日本語教育ワークショップ 2016 秋

テーマ:

日本語の慣用的メタファー表現を探る
－ アラビア語との比較から －

私たち日本語教師は、いや日本語に限らず、また教育に限らず、言語と他の言語の間に身を置く人々は、一つの言語から他方の言語をながめたとき、「このような説明で解るだろうか」「この言い換えが通じるだろうか」といつも迷っていると言ってもいいのではないのでしょうか。世界を把握する仕方、概念化や認知の様式が人間にすべて共通ならば、そう迷うことではないかもしれませんが、環境も生活も文化も考え方も多様なのが現実です。世界の切り取り方がどのように言語に反映し、どこまでが共通で何が共通でないのか。また、こうした研究がどのくらい進んでいるのか、私たちは知りたいと思います。

今回はこれまでのワークショップとはやや趣を異にし、普段はあまり馴染みのないアラビア語と日本語の比較を窓口にして、上に述べたような立場からメタファー研究の一端に触れ、日本語教育の現場での慣用的表現の利用や扱いについて考えてみたいと思います。講師には、私たち日本人にアラブ世界を熱心に紹介し人々の相互理解促進に勤しんでいるアブドラー・アルモーメン氏(東海大学国際教育センター准教授、日本語・日本文学博士)をお呼びしました。氏のこれまでの研究の一端とご自身の日本語習得の経験について、興味深いお話しがうかがえることと思います。どうぞご期待ください。

■レクチャー

「日本語とアラビア語のメタファー思考 － 日本人とアラブ人の心象風景をめぐって －」

言語の意味とは、人間の経験に動機づけられた、言語使用者による外界認識の産物である。このような観点から、慣用表現の意味を分析することによって言語共同体の成員がどのように世界を把握しているかを知ることができる。

本レクチャーではメタファーという認知ツールに焦点を当て、肉体的な経験を基盤にして非肉体的なもの(抽象的語彙)へと概念化する日本語とアラビア語の慣用表現を取り上げていく。そして、それらの表現に見られる比喩性と意味理解の性質を対比しながら分析し、それぞれの言語共同体での外界把握の特徴と違いを見ることにしたい。具体的には、両言語における「死」、「恋愛」、「時間」、「顔」などにかかわる慣用的メタファー表現の事例を取り上げて対照し、互いの精神世界と文化の隠れた面を探る。そこで、日本語及びアラビア語の「死」、「恋愛」、「時間」の<抽象的語>にまつわる慣用的表現とその概念体系の諸パターンを提示し、両者にはどのような概念特性があるかを検証する。その上で、母語に基づく概念的な知識や文化知識などがアラブ人の日本語学習者または日本人のアラビア語学習者のメタファー表現の理解にどのような影響を与えるのか考えてみたい。こうした抽象的語彙の慣用的表現を対照言語学・認知言語学に基づいて考察することが、日本語教育に何かのヒントをもたらすことを願って。

■ワークショップ, 1

「日本語学習者のメタファー表現理解に影響するメタフォリカル・コンピテンス」

メタフォリカル・コンピテンスとは「様々な概念メタファーに基づいたメタファー表現を識別・理解・産出する能力」である。こうした概念メタファー理論と応用認知言語学研究の発展にともない、外国語学習者のメタフォリカル・コンピテンスが注目されつつある中、第二言語習得への導入が活発になってきている。一方、日本語教育ではメタフォリカル・コンピテンスやその養成法に関する研究はまだ少ない。本ワークショップでは、数字や身体に関する慣用表現など日常会話で使う慣用表現を取り上げて、日本語学習者のメタファー表現理解とそれに関する参加者のこれまでの現場での指導経験を振り返って議論する。そして日本語教育への応用認知言語学的な指導法の導入の可否を検討したい。

慣用表現の事例：「一か八か」「一人相撲をとる」「顔が立つ」「顔が広い」など

■ワークショップ, 2

「学習者のメタファー表現の理解力養成とその方法の開発をめぐる」

先のワークショップでは、従来の指導法に比べ、概念メタファー理論を生かした指導法が日本語学習者の慣用的メタファー表現の理解力の向上に有効かどうかについて考えた。このセッションでは、理解が容易な日本語メタファー表現と理解が困難な日本語メタファー表現にはどのようなものがあるか考えながら、学習者のメタファー表現の理解力養成につながる持続的効果のある方法、導入の仕方などを参加者の皆さんと共に考えたい。

日時： 2016年11月5日 & 6日(土・日)
場所： 東海大学ヨーロッパ学術センター(TUEC)
Tokai University European Center
Vedbæk Strandvej 476
2950 Vedbæk
DENMARK

電話： (+45) 45 89 08 09

メール： tuec@u-tokai.dk

申し込み方法：3 ページ目をご参照ください。

時間割：

11月5日(土)

10:15	受付開始
10:45	主催者挨拶、参加者自己紹介
11:00~12:30	第1セッション(レクチャー)アブドラー・アルモーメン氏 「日本語とアラビア語のメタファー思考 ー日本人とアラブ人の心象風景をめぐるー」
12:30~13:30	昼休み(TUECで昼食を用意します。)/集合写真の撮影
13:30~15:00	第2セッション(ワークショップ①)アブドラー・アルモーメン氏 「日本語学習者のメタファー表現理解に影響するメタフォリカル・コンピテンス」

15:00～15:20	コーヒーブレイク
15:20～16:10	第3セッション(教材・教室活動の工夫・tips 集)
16:20～16:50	第4セッション(発表①)
17:30～19:00	夕食(TUECで夕食を用意します。)/ あとかたづけ

11月6日(日)

07:00～08:30	朝食(宿泊された方はTUECが用意したパン・牛乳・ジュース・野菜などを各自食堂で召し上がってください。)
09:00～10:30	第5セッション(ワークセッション②)アブドーラ・アルモーン氏 「学習者のメタファー表現の理解力養成とその方法の開発をめぐる」
10:40～11:10	第6セッション(発表②)
11:20～11:50	第7セッション(発表③)
12:00～13:30	昼休み(TUECで昼食を用意いたします。)
13:30～14:00	第8セッション(発表④)
14:10～14:40	第9セッション(発表⑤)
14:50～15:20	第10セッション(「まとめの討論」と今後に向けて)
15:30～15:40	閉会挨拶(閉会時刻は変更になることがあります)

申し込み方法:

以下のリンク先にある申し込みフォームからお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/19WhbRs2eDDWcJhQ2>

参加申し込み締め切り(発表をなさる方):10月11日

第4・6・7・8・9セッション(発表①、②、③、④、⑤:研究発表、機関紹介、教材紹介など)への発表申し込みをお待ちいたします。ご発表の内容は必ずしも今回のテーマと直接関係していなくてもかまわないことにいたします。

発表をなさりたい方は、その旨を申し込みフォームの該当欄にご記入のうえ、**10月11日まで**にお申し込みください。

参加申し込み締め切り(発表をなさらない方):10月31日

第3セッション(教材・教室活動の工夫・tips 集)について:

このセッションは、日ごろの教室活動や教材作成における工夫や疑問について、自由に話し合う時間として設けました。「こんな時、どうしたらいいだろう」「こんな教材があるのでおすすめ」など、現場の経験や疑問・アイデアなどについて、参加者同士で共有し情報交換する場とし活用していただきたいと思います。また、ここで取り上げられた点について、引き続きワークショップ開催中に、インフォーマルな形で参加者同士の情報交換が促されることを期待しております。

紹介したいことや取り上げてほしいテーマがごありの方は、申し込みフォームの該当欄にその旨をご記入ください。

参加費: 400,- DKK (2日間を通しての代金(食事代込み)です。)

宿泊費: 1泊 250,- DKK

お支払い方法:

TUEC の銀行口座にお振り込み、または当日現金でお支払いください。申し込み用紙の所定の欄でご希望のお支払方法をお選びください。

当日現金でお支払いに際してのお願い:

まことに勝手ながら、所定の金額をお釣りの無いようご用意いただけますよう、お願い申し上げます。

口座振り込みに際してのお願い:

お振込の際には、以下の口座番号をご利用ください。まことに勝手ながら、振り込み手数料・送金手数料は振り込み人ご負担でお願い申し上げます。11月1日までにお振込手続きをしていただきますよう、お願い申し上げます。

デンマーク国内から: Reg. No. 1471 (Danske Bank)
Account No. 4090329405

デンマーク国外から: IBAN (account number): DK3530004090329405
BIC (SWIFT-address): DABADKKK

その他: 各セッションの進行役はご参加の皆様にも分担をお願いいたします。

アルモーメン アブドラー先生ご略歴

東海大学・国際教育センター准教授

エジプト・カイロ生まれ、日本国籍。2001年学習院大学文学部日本語日本文学科卒業。同大学大学院人文科学研究科で、日本語とアラビア語の対照言語学を研究、日本語日文学博士号を取得。元NHKテレビ・アラビア語講座講師、NHK・BS放送アルジャジーラニュースの放送通訳のほか、天皇・皇后両陛下やアラブ諸国首脳、パレスチナ自治政府アッパース議長などの通訳を務める。元サウジアラビア王国大使館文化部・アカデミックスーパーバイザー。

主な著書:

『地図が読めないアラブ人、道を聞けない日本人』(小学館)

『アラビア語が面白いほど身に付く本』(中央出版)

『アラブ人取扱説明書』(ドバイビジネストウディ)

『アラビア文字練習プリント』(小学館)

『日本語とアラビア語の慣用的表現の対照研究~比喩的思考と意味理解を中心に』

(国書刊行会) 他。